履　歴（令和 8 年 10 月 15 日現在）

氏名：　　足立 憲昭（のりあき）

生年月日：　昭和 25 年 5 月 3 日

出生地：
本籍地：
自宅：

自宅電話：　0798－52－6365
携帯電話：　090－9052－0427
自宅 FAX：
E-mail：　fe4n-adc@asahi-net.or.jp
携帯 mail：　mimu.hanky8103@docomo.ne.jp

現勤務先：　兵庫県三木市大塚 1 丁目 5－89
　　医療法人社団　和敬会　理事長
　　みきやまリハビリテーション病院

兼任：中華人民共和国　福建省漳州（しょうしゅう）市
　　漳州正興病院（しょうしゅうせいこう）　設立準備委員会　委員長

学歴

昭和 38 年 3 月　神戸大学（旧）教育学部（現「発達科学部」）附属住吉小学校卒業

昭和 41 年 3 月　私立灘中学校卒業

昭和 44 年 3 月　私立灘高等学校卒業

昭和 44 年 4 月　信州大学医学部入学
在学中、九州大学心療内科、神戸パルモア病院小児科・産婦人科、
横須賀アメリカ海軍病院などの夏期実習に参加
九州大学心療内科池見酉次郎教授より自律訓練の心療内科診療、
パルモア病院三宅廉院長らより小児科・産科の実習指導を受ける。

昭和 50 年 3 月　信州大学医学部卒業

昭和 50 年 4 月　信州大学大学院入学
医学部第 3 内科（神経内科）塚越廣教授、柳澤信夫教授に師事
同 10 月　半年間信州大学第 2 内科で
胃腸透視(MDL，注腸）、上部消化管内視鏡の研修を受ける。

昭和 53 年 1 月　大阪大学蛋白研究所機能制御部門国内留学
蛋白分解酵素の分析、精製、測定法などにつき研究を行い
藤井節郎教授、岩永貞明助教授（現九州大学教授）の指導を受く

昭和 53 年 7 月　米国コロンビア大学医学部内科学教室留学
DeWitt.S.Goodman 教授に師事（２年間）

昭和 57 年 3 月　信州大学大学院卒業。　医学博士。

職歴

昭和 51 年 10 月　富士見高原病院内科勤務
長野県諏訪郡富士見町で小児を含めて総合診療にあたる。

昭和 53 年 7 月　米国コロンビア大学内科学教室留学
Staff Associate（1 年目）
Research Associate（2 年目）

昭和 55 年 10 月　信州大学第 3 内科消化器班班長を拝命
胃腸透視(MDL、注腸）、胃十二指腸内視鏡等の
消化器検査について後輩の指導にあたる。

昭和 56 年 4 月　長野赤十字病院に神経内科副部長として勤務

昭和 58 年 4 月　信州大学第 3 内科医局長に選出される。

昭和 59 年 4 月　豊科赤十字病院に神経内科部長として勤務
ＩＣＵ委員などを勤める。

昭和 62 年 4 月　信州大学第 3 内科医局長（2 回目）に選出

平成元年 1 月　信州大学附属病院第 3 内科病棟主任を拝命
病棟医の指導、「糖尿病教室」の講演等を担当

以上すべて信州大学第 3 内科医局人事による。

平成 2 年 4 月　　京阪神に帰郷のため、大阪府四條畷市の救急病院である
　　畷生会(てつせいかい)脳神経外科病院（190 床）に副院長として招聘を受ける。
　　同病院の院内感染対策委員長などを勤める。

平成 3 年 10 月　財団法人痛風研究会より痛風診療の担当医と認定され、
　　畷生会脳神経外科病院が大阪大学附属病院、成人病センターなど
　　とならび大阪府下 4 番目の痛風協力医療機関となる。
　　以後同病院痛風外来担当（週 1 回）

平成 5 年 5 月　　有馬温泉病院(384 床）に副院長として招聘される。
　　10 月　　同病院院長を拝命し 1 年間院長職を勤める。

平成 6 年 10 月　自宅近くの西武庫(にしむこ)病院に内科部長として勤務
　　（月・水・木曜日は全日勤務、金・土曜日は半日勤務の
　　実質「週休 3 日、週 4 日勤務」）

平成 10 年 8 月　「財団法人日本医療機能評価機構」の
　　「評価調査者（サーベイヤー)」の任命を受け、
　　西武庫病院勤務の傍ら全国の病院の機能評価を担当開始

　　執筆、インターネット医療相談、医療事故調査会、
　　病院機能評価などの活動で多忙となり西武庫病院を退職

平成 12 年 2 月　　医療法人　喜望会　谷向病院に週 3 日の勤務を始める。
　　3 月　　同病院内科部長に昇格就任。

平成 17 年 4 月　社団法人　神戸市医師会　神戸大学医学部付属病院より
　　同　神出病院が卒後医師臨床研修施設に認定される。
　　(神戸大学/神戸市医師会地域保健・医療プログラム)
平成 17 年 5 月　　学校法人 中内学園 流通科学大学より特別講師の任命を受ける。

平成 18 年 7 月　　医療法人社団　和敬会
　　みきやまリハビリテーション病院院長に就任

平成 19 年 2 月　　病院併設のデイケアみきやま施設長兼任

平成 23 年　春　　中華人民共和国　福建省 漳州（しょうしゅう） 市
漳州（しょうしゅう） 正興病院（せいこう）　設立準備委員会委員長　就任

平成 24 年 10 月　医療法人社団　和敬会　理事長に就任（院長兼任）

令和 3 年 3 月 1 日　医療法人社団　和敬会
みきやまリハビリテーション病院院長　退任

免許等

昭和 50 年 6 月 10 日　医師免許

昭和 57 年 3 月　医学博士
信州大学　第 194 号

昭和 57 年 12 月 8 日　電話級アマチュア無線技師
BAGN　2662

昭和 59 年 7 月 21 日　日本神経学会　日本神経学会認定医試験
証書番号 No.578

平成 3 年 11 月 24 日　社団法人　日本警察犬協会三重県支部
近畿日本訓練チャンピオン決定競技会　特良

平成 13 年 3 月 23 日　介護支援専門員（ケアマネジャー）
兵庫県第 02266 号

平成 14 年 7 月 28 日　パソコンネットワーク技術試験
（NASKA：　Network Application Skill and Knowledge Aptitude test）ノービスクラス

平成 15 年 7 月　文部科学省認定「ファッションコーディネート色彩検定（3 級）」証書番号　No.031018450

平成 15 年 12 月 25 日　兵庫県社会保険事務局　保険医登録票
兵　医　42016

平成 16 年 6 月 20 日　文部科学省認定「実用フランス語技能検定試験」
4 級、5 級同時受験双方共合格

平成 16 年 6 月 27 日　TOEIC　結果得点　810 点

平成 17 年 1 月 28 日　日本神経学会　神経内科専門医合格
日本神経学会指導医証授与　第 873 号

平成 18 年 7 月 26 日　麻薬施用者免許

平成 19 年度秋季　　文部科学省認定「実用フランス語技能検定試験」
3 級合格

平成 21 年 1 月 19 日　財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
医療関係機関等を対象にした
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会　修了

平成 21 年 1 月 26 日　財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物
管理責任者に関する講習会」試験合格

平成 21 年 10 月 1 日　社団法人　兵庫県医師会
兵庫県医師会死体検認定
医認定登録番号　21-002

平成 22 年 4 月 12 日　一般財団法人　日本中国語検定協会
中国語検定試験　準 4 級合格

平成 22 年 6 月 20 日　中国政府教育部公認 HSK（漢語水平考試）
1 級・2 級　同時合格

平成 24 年 3 月 18 日　中国政府教育部公認 HSK（漢語水平考試）
3 級合格（合格認定番号 H31203002705）

平成 25 年 7 月 5 日　一般財団法人　日本中国語検定協会
平成 25 年 6 月 23 日実施　第 80 回中国語検定試験
4 級合格（合格認定番号　25241734）

平成 26 年 4 月 10 日　公益社団法人　全国宅地建物取引業協会連合会
不動産キャリアパーソン修了試験合格　第 28-000058 号

平成 26 年 7 月 6 日　東京商工会議所
「福祉住環境コーディネーター検定試験（3 級）」
証書番号 32-3-03304

平成 26 年 7 月 15 日　一般社団法人　日本医療経営実践協会
「医療経営士 3 級」　受験番号 31412070008

平成 26 年 9 月 15 日　一般社団法人　日本医療経営実践協会
日本医療経営実践協会認定登録医療経営士 3 級
認定登録番号　第　32810014090206 号

平成 26 年 12 月 3 日　一般財団法人　不動産適正取引推進機構
平成 26 年度宅地建物取引主任者資格試験合格
第 14281137 号

平成 26 年 12 月 8 日　難病指定医
指定番号　28P1400444

平成 27 年 3 月 10 日　宅地建物取引主任者証の交付を受ける
登録番号（兵庫）第 054431 号
登録年月日　平成 27 年 2 月 6 日
発行番号　第 142805402 号

平成 27 年 3 月 17 日　一般社団法人　日本介護福祉経営人材教育協会
「介護福祉経営士 2 級」　受験番号 21506610002

平成 27 年 12 月 20 日　内閣府認可　公益財団法人 JAA 人間力育成協会
第 5 回航空検定試験 3 級合格
合格者番号 130380

平成 27 年 12 月 20 日　内閣府認可　公益財団法人 JAA 人間力育成協会
第 5 回航空検定試験 2 級合格
合格者番号 121363

平成 28 年 2 月 20 日　日本慢性期医療協会
日本慢性期医療協会主催
「第三回看護師特定行為研修指導者講習会」　修了

平成 28 年 2 月 23 日　コンプライアンス検定委員会
ビジネスコンプライアンス検定　初級合格
証第 160223H00209 号

平成 28 年 7 月 10 日　ICT プロフィシエンシー検定協会
ICT プロフィシエンシー検定試験（P 検）　3 級合格
Certification _I.D　PK100LU889

平成 29 年 1 月 1 日　ICD 制度協議会
インフェクションコントロールドクター（ICD）　認定
認定番号　第　EI0687　号
認定期間　自　2022 年 1 月 1 日
至　2026 年 12 月 31 日

平成 29 年 3 月 11 日　ハワイ州観光局公認
ハワイスペシャリスト検定
Kupukupu（クプクプ・初級）　合格

平成 29 年 8 月 1 7 日　一般社団法人　全国給与計算検定協会
給与計算検定　4 級　1700074

平成 29 年 9 月 15 日　一般社団法人　日本医療経営実践協会
「医療経営士 3 級」再認定
認定登録番号　第 32810114090206 号

平成 29 年 9 月 23 日　ドローン検定協会
無人航空従事者試験　4 級　合格
ＬＩＤ；ＪＡ000058025074

平成 29 年 10 月 1 日　一般社団法人　日本不整脈心電図学会
心電図検定　2 級　合格

平成 29 年 12 月 1 日　公益社団法人日本医師会
日医生涯教育認定証授与　第 1728100001 号
現認定期間：令和 2 年 12 月 1 日～令和 5 年 11 月 30 日

平成 30 年 1 月 13 日　日本商工会議所
簿記検定試験　初級合格 97 点／100 点　合格

平成 30 年 4 月 20 日　一般財団法人職業技能振興会
第 9 回給与計算実務能力検定　2 級　合格

平成 30 年 4 月 25 日　一般社団法人日本医療福祉設備協会
第 7 回ホスピタルエンジニア認定試験　合格
認定番号　001019
初回認定日　平成 30 年 7 月 1 日
有効期限　　平成 35 年 7 月 31 日

平成 30 年 7 月 1 日　一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会
介護福祉経営士 2 級　認定
認定番号　22810106610002
有効期限　平成 33 年 6 月 30 日

平成 31 年 4 月 1 日　一般社団法人日本神経学会
日本神経学会認定指導医　認定
指導医番号　873
認定日　2009 年 5 月 20 日
現認定期間　2019 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

令和１年８月１日　内閣府認証特定非営利活動法人　パソコン整備士協会
パソコン整備士検定　認定
認定登録番号　C2043
有効期限　2022 年 7 月 31 日まで

令和 2 年 7 月 19 日　国家試験
知的財産管理技能検定　学科試験　合格
技能士番号　2030005181

令和 2 年 9 月 15 日　一般社団法人日本医療経営実践協会
日本医療経営実践協会認定登録　医療経営士 3 級　再認定
認定登録番号　32810214090206
有効期限　2023 年 9 月 14 日まで

令和 2 年 10 月 2 日　一般社団法人日本経営管理協会
M＆Aスペシャリスト検定試験　合格

令和 2 年 10 月 2 日　一般社団法人日本人材育成協会
二級労務管理士　合格
認定登録番号　107406
有効期限：2023 年 10 月 18 日まで

令和 2 年 11 月 20 日　サーティファイ著作権検定委員会
ビジネス著作権検定　初級　合格

令和 3 年 1 月 5 日　国家試験
第 37 回　知的財産管理技能検定　実技試験　合格
技能士番号　IP2030005181

令和 3 年 10 月 15 日　企業年金連合会
第 20 回企業年金管理士（確定拠出年金）試験　合格
登録番号　01-202110-0013

令和 5 年 7 月 14 日　国家試験
情報処理技術者試験
情報セキュリティマネジメント試験　合格
第 SG－2023－06－00002 号

令和 5 年 10 月 4 日　CompTIA Security+ Certification Exam　認定資格試験　合格

令和 6 年 1 月 18 日　CompTIA Network+ Certification Exam　認定資格試験　合格

令和 6 年 3 月 7 日　CompTIA Cloud Essentials+　認定資格試験　合格

令和 6 年 3 月 28 日　CompTIA Server＋　認定資格試験　合格

令和 6 年 3 月２８日　CompTIA Network Infrastructure Professioal－ CNIP 認定

令和 6 年 7 月 7 日　ドイツ語検定　5 級　合格

令和 6 年 8 月 22 日 CompTIA Security+ Certification Exam　SY0-701
認定資格試験(英語) 合格

令和 7 年 8 月 28 日　Google Cloud Certified - Associate Google Workspace
Administrator　認定資格試験（英語）　合格

令和 7 年１０月１６日　原価計算検定試験　初級　合格

令和 8 年 2 月 19 日　ヤマハネットワーク技術者認定試験　YCNE Basic 合格
合格者番号 hxsm-hnp9-v3t8

令和８年４月５日　Microsoft Certified Azure Fundamentals 取得

令和８年４月 16 日　Cisco Certified Support Technician Networking
（CCST Networking）合格

令和８年４月 30 日　一般社団法人　日本 AI スキル認定協会
AI スキル検定初級　合格

令和８年５月３日　生成 AI リスク管理者検定　合格

令和８年１０月５日　ISC2 Certified in Cybersecurity (CC) 試験 合格

加入学会

（※すべて正会員）

・日本神経学会	会員番号（017507）
・日本内科学会	会員番号（ア 6979）
・日本環境感染学会	会員番号（1869334262）
・日本感染症学会	会員番号（11600160）
・日本リハビリテーション医学会	会員番号（111180）
・日本不整脈心電学会	会員番号（K160553）
・日本旅行医学会	会員番号（M170041）
・日本渡航医学会	会員番号（th11539）
・日本医療マネジメント学会	会員番号（35033599）

他加入

・日本医療福祉設備協会　（B1 会員）

・ラジコン操縦士　一般財団法人　日本ラジコン電波安全協会
Japan Radio Control Safety Association）
登録番号：69003603-01
登録年月日：平成 29 年 7 月 27 日

・世界医師会　準会員（ＰＲ2009）

・日本リハビリテーション病院・施設協会　会員番号（A1167）

・回復期リハビリテーション病棟協会　会員番号（00147）

受講歴

平成 3 年 10 月 1 日　　社団法人　日本医師会　生涯教育修了証

平成 16 年 9 月 1 日　　社団法人　日本精神科病院協会
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく研修

平成 17 年 2 月 7 日　　厚生労働省医政局
精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」運営委員会
近畿地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」修了

平成 17 年 9 月 4 日　　厚生労働省医政局長・社団法人日本感染症学会主催
院内感染対策講習会

平成 17 年 11 月 6 日　　社団法人　兵庫県医師会
日本救急医学会認定　ACLS 基礎（ICLS）コース受講
受講証明書番号　県医　05031

平成 17 年 11 月 27 日　眼瞼・顔面痙攣治療研究会
眼瞼・顔面痙攣治療講習・実技セミナー修了

平成 17 年 12 月 9 日　　社団法人　日本精神科病院協会
認知症高齢者に関する研修会　修了

平成 19 年 12 月 19 日「医療安全に関するワークショップ」（近畿地区）
厚生労働省近畿厚生局主催
研修プログラム
テーマ「医療安全管理の実際
～法改正の対応をはじめとして～」
講演Ⅰ「医療安全取組事例紹介システムについて」
講演Ⅱ「医療機器の安全管理の実際」
講演Ⅲ「医薬品関連医療事故防止の方策
～医薬品安全管理者の責務をどう果たすか～」
講演Ⅴ「医療安全管理室による
“医療安全管理に対するＫＹ活動の導入”」

平成 20 年 11 月 8 日　SR（Sleep Respiratory Academy Japan）
人工呼吸療法公開セミナー　ID No：HG2051

平成 21 年 1 月 19 日　財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
医療関係機関等を対象にした
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会　修了

平成 21 年 2 月 15 日　厚生労働省
厚生労働省の定めるかかりつけ医
認知症対応力向上研修　修了

平成 21 年 8 月 4 日　社団法人　日本医師会
日本医師会 ACLS（二次救命処置）研修
修了証登録番号　20900074

平成 22 年 1 月 26 日　厚生労働省医政局
神戸大学医学部附属病院・日本医師会・兵庫県医師会
第 4 回　神戸大学医師臨床研修指導医講習会　修了

平成 22 年 12 月 8 日　厚生労働省健康局・神戸大学医学部附属病院
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会　修了

平成 23 年 6 月 2 日　A 型ボツリヌス療法講習機構
A 型ボツリヌス毒素製剤ボトックス講習・実技セミナー　修了

平成 23 年 10 月 8 日　社会福祉法人　兵庫県社会福祉協議会
介護支援専門員再研修　修了

平成 25 年 12 月 26 日　厚生労働省近畿厚生局
医療安全に関するシンポジウム　受講修了

平成 26 年 6 月 30 日　バクロフェン髄腔内投与（ITB）療法
アドバイザリー・コミッティー監修講習
「ITB 療法 Web 講習」受講修了 登録番号 第 1406020 号

平成 27 年 4 月 19 日　株式会社 EE21　未来ケアカレッジ
介護事務講座（1 日 6 時間×5 日間コース）修了

修了証明書番号　第-MKS-KJⅢ-KSN15032209 号

平成 27 年 5 月 1 日　ゴールドトラスト株式会社
サ高住学校介護専門コース　修了

平成 27 年 5 月 24 日　回復期リハビリテーション病棟協会
第 8 回　回復期リハ病専従医師研修会　修了
修了証番号　1231

平成 27 年 9 月 27 日　日本慢性期医療協会
第 2 回看護師特定行為研修指導者講習会　修了
修了証番号　第 2015-ⅠA-105 号

平成 27 年 9 月 27 日　日本慢性期医療協会
V.A.C 治療システム事前トレーニング　受講修了
認定番号　V.A.C.22788

平成 28 年 5 月 16 日　日本慢性期医療協会
排尿機能回復のための治療とケア講座　修了
修了証番号　28-01093 号

平成 28 年 10 月 9 日　日本環境感染学会
第 11 回医療疫学トレーニングコース
（基礎編：2016 年 10 月 8 日～10 月 9 日）受講修了

平成 28 年 10 月 27 日　兵庫県医師会
平成 28 年度医療安全研修会　受講修了

平成 28 年 11 月 20 日　日本環境感染学会
第 12 回医療疫学トレーニングコース
（調査編：2016 年 11 月 19 日～11 月 20 日）受講修了

平成 28 年 12 月 4 日　平成 28 年度第 3 回小児在宅医療実技講習会　受講修了

平成 28 年 12 月 15 日　公益社団法人医療・病院管理研究協会
病院グループの運営と今後の事業展開　修了

平成 29 年 1 月 14 日　一般社団法人　日本救急医学会
第 13 回　SAMURAI　JADECOM
ICLS 指導者養成ワークショップ　修了
認定 ICLS コース　コース認定番号　1712023

平成 29 年 4 月 27 日　一般社団法人　日本医療法人協会
第 1 回経営講座　受講修了

平成 29 年 3 月 31 日　公益社団法人　日本医師会
厚生労働省平成 28 年度死体検案講習会委託事業
日本医師会死体検案研修（上級）　終了
第 28-007 号

平成 29 年 5 月 17 日　一般社団法人　日本慢性期医療協会主催のハワイ研修旅行（5 月 16 日～5 月 21 日）に参加し
Continuing education seminar
on
Healthcare　System in U.S.
by
Nobuyuki Miki, MD
Vice President
Kuakini Medical Center　終了

平成 29 年 5 月 28 日　兵庫県保険医協会
保険請求事務講習会　修了

平成 29 年 7 月 1 日　集中治療クラブ
人工呼吸とことんセミナー　修了

平成 29 年 12 月 26 日　株式会社オファーズ
職業紹介責任者講習会　受講修了
番号（003-171226131-0023）

平成 29 年 2 月 11 日　NPO 法人日本医学シミュレーション学会（JAMS）
第 13 回日本医学シミュレーション学会学術集会

第 156 回 CVC 実践セミナー　修了

令和１年９月 23 日　学校法人ＳＢＩ大学
学校法人ＳＢＩ　大学院大学　ＭＢＡ　韓非子(前編)　修了

令和２年８月３日　一般社団法人日本能力教育促進協会
片付け収納スペシャリスト　修了証

執筆講演活動

著書：「臨床検査法提要（分担）」（金原出版、第 29 版）

「第 86 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社'92）

「臨床医のための診療技術（分担）」（中外医学社、'93 5 月発刊）

「第 87 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社'93）

「チャート内科　Ⅰ　神経、血液（足立、若林編）」
（医学評論社　'93 8 月発刊）

「第 88 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社'94 ）

「第 89 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社 ）

「アトピー・ステロイドを考える　講演記録集
（淀川キリスト教病院　玉置昭治先生、神戸労災病院　清水良輔先生らと共著）
（アトピー・ステロイド情報センター '95 年 8 月発行）
本書は柘植書房より再出版された。

「第 90 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社 ）

「第 91 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社 ）

「医療事故を防ぐために（医療事故調査会シンポジウム記録集）（分担）」
（日本アクセル・シュプリンガー出版　'98 8 月発行）

講演：１）「めまい」の診療
保険診療研究　長野県保険医協会主催
日時：昭和５７年５月２１日（金）　於：長野県保険医協会

２）患者接遇、インフォームドコンセントの勧め
日時：平成１１年４月２０日（火）午後５時～６時
於：全国社会保険協会連合会　奈良社会保険病院

３）「民間病院のより良い院長像を求めて」－現場の指揮官の仕事の仕方－
神戸医療経営学研究会　第 12 回定例研究会発表
日時：平成２１年１２月 5 日(土)　於：三宮研修センター

一般雑誌掲載、マスコミ報道等（国際誌を中心とした多数の学術論文は除く）：

「頭痛」「耳鳴り」「めまい」など（ファックス・ドクター）
（日経ウェルネス　平成６年 10 月新発行、以後ほぼ毎月掲載。
平成 7 年 4 月 20 日「カラダの不安」として特集号出版）

「痛風と温泉療法」痛風協力医療機関だより
（痛風友の会発行「痛風」　平成 6 年 6 月号　No.297）

ビジネスマンのための健康相談「東南アジア出張で注意する病気は」
（平成 5 年 6 月 25 日　大阪日々新聞）

以下畷生会脳神経外科病院吉川幸広院長と共同執筆（いずれも大阪日々新聞）

ビジネスマンのための健康相談「Ｃ型肝炎」　（平成 5 年 2 月 25 日）
専門医が答える健康相談「糖尿病性末梢神経障害」（平成 4 年 8 月 19 日）
名医が答える健康相談　「膠原病」　（平成 4 年 6 月 3 日）
〃　「高脂血症」　（平成 4 年 5 月 13 日）
〃　「糖尿病」　（平成 4 年 4 月 1 日）
〃　「気管支喘息」　（平成 4 年 4 月 22 日）
〃　「パーキンソン病」　（平成 3 年 11 月 6 日）
〃　「アルツハイマー病」　（平成 3 年 9 月 25 日）

神戸新聞「バス通勤」（ドクターの目）平成 6 年 9 月 6 日
「風呂の効用」（　〃　）平成 6 年 10 月 25 日
「しゃっくり」（　〃　）平成 6 年 12 月 6 日
「医者の掛り方」（　〃　）平成 7 年 2 月 6 日

「若手医師たちよ大学を離れて実力をつけよう!!」
（月刊ジャミックジャーナル　平成 1998 年２月号　P.62－63）

「しゃっくり」（関西電力発行「わっと」平成１４年４月号　P.５）

マスコミ報道：　「温泉につかりアトピー治療　有馬温泉病院」
（神戸新聞　平成 6 年 2 月 2 日）

「ネット医療相談、年１千件越す」
（朝日新聞　平成９年８月 13 日）
「患者に医療情報を」
（ＮＨＫ大阪放送局　平成９年 11 月 14 日）

「人に言えない病気　ネットで相談」
（朝日新聞社　「週刊ＡＥＲＡ」平成１２年３月 27 日号）

「ネットで医療を受けるってどこまで進んでいるの？」
（マガジンハウス発行「ダカーポ」平成 2001 年９月 19 日号Ｐ.36）

「骨髄異形成症候群とは」
タレントの青島幸男さん逝去の報道中声で出演
（日本テレビ「スッキリ」平成 18 年 12 月 23 日午前８時過ぎ）

「 医療地図の描き方　院長による"人脈と経験"の人材集め」
月刊保険診療(0385-8588) 60 巻 12 号 Page80-81　2005.12

「ストップ！　しゃっくり」
（社団法人 家の光協会発行「ちゃぐりん」平成 18 年 11 月号 p.56-59）

「慢性扁桃炎」
（「けんぽだより」２００７年１月発行 p.10）

医療　新たな胎動
「インターネットで病気の相談　～人びとの不安に応える“医の心”」
医療ジャーナリスト　和田　努　によるインタビュー記事

健康保険組合連合会の雑誌「健康保険」　平成 22 年 12 月号
（平成 22 年 12 月 15 日発行）

経営学の広がり　「病院組織のマネジメント」
硯学舎　「１からの経営学」
加護野忠雄　吉村典久　編 p.269－p.288

和歌山大学観光学部准教授　竹田明弘　によるインタビュー

マスコミ報道：　黒田 昭 三木市医師会長との対談「専門職が生きる環境づくりで充実した在宅ネットワークを構築」

(地域経営とヘルスケア　平成 27 年 2 月 1 日)

「イノベーダーの構想力」

(Phase3　平成 28 年 1 月 10 日発行　通巻 378 号)

（その他の活動）

平成８年８月ころより「インターネット病気個別相談」のホームページを開設。
１００万件以上のアクセスがあり、
朝日新聞、ＮＨＫテレビなどで紹介される。

平成８年より､｢医療事故調査会｣世話人の任命を受け､裁判所より依頼の証人出廷、
鑑定書作成などを担当。医療事故防止を研究し、発表を行っている。
平成１９年ころまでだけでも鑑定書作成件数は合計約３９編を越す。

平成１０年８月より厚生労働省支援団体「財団法人　日本医療機能評価機構」の
評価調査者（サーベイヤー）の任命を受け、
病院勤務の傍ら全国の病院の機能評価を担当しつつある(既訪問審査２０病院以上)。
平成１６年４月よりは同「評価部会員」にも就任。

研究歴

昭和 53 年 1 月　大阪大学蛋白研究所機能制御部門国内留学
蛋白分解酵素の分析、精製、測定法などにつき研究を行い
藤井節郎教授、岩永貞明助教授（現九州大学教授）の
指導を受ける
昭和 53 年 7 月　米国コロンビア大学留学
DeWitt.S.Goodman 教授に師事し
コロンビア大学助手(Staff Associate）としてビタミンＡの
受容体蛋白の研究に従事（２年間)。

昭和 58 年度文部省科学研究費奨励研究（課題番号 58770577）の認定を受ける。
昭和 62 年度　〃　（課題番号 62770202）　〃　。
いずれもアミロイドーシスの生化学的、治療の研究に対しての認定。
平成元年財団法人上原記念生命科学財団より研究奨励金（200 万円）を贈呈される。
平成元年 4 月～ 3 年間
厚生省ニューロパチー研究班分担研究者（班員）に任命される。
（平成２年度より暘生会脳神経外科病院就職の為辞退）
平成元年 7 月
ＮＡＴＯ（北大西洋条約機構）より
Advanced Research Workshop への招待を受け、
イタリアにて、先進各国より選ばれた研究者(いずれもプロテアーゼの専門家)
約 60 人に対し「神経内科と蛋白分解酵素」につき 40 分間の学術講演を行う。
講演内容は

Serine Proteases and Their Serpin　Inhibitors in the Nervous System
(Plenum Publishing Corporation ,　New York, London)
として発刊される。

研究分野：内科、神経内科全般および臨床薬理。
アミロイドーシス、髄液、ビタミンＡリセプター蛋白、プロテアーゼなど。

発表論文：上記分野につき国際雑誌を中心に約 40（論文目録は末尾)。

有馬温泉病院勤務中は温泉医学の研究に従事

賞罰（一部研究歴より再掲）

１）昭和６３年度　上原記念生命科学財団より

「アミロイドーシスに対するプロテアーゼによる治療」

に対し、研究奨励金（２００万円）（８８奨－３５）の贈呈を受ける。
研究結果は
「上原記念生命科学財団　研究報告集　vol.4, 1990 p243-245」に掲載。

２）平成元年 4 月～ 3 年間
厚生省ニューロパチー研究班分担研究者（班員）に任命される。
（平成２年度より畷生会脳神経外科病院副院長就職の為辞退）

３）平成元年 7 月（招待講演）

ＮＡＴＯ（北大西洋条約機構）より
Adavanced Research Workshop への招待を受け、
イタリアにて、先進各国より選ばれた研究者（いずれもプロテアーゼの専門家）
約 60 人に対し「神経内科と蛋白分解酵素」につき 40 分間の学術講演を行う。

４）昭和 58 年度文部省科学研究費奨励研究（課題番号 58770577）の認定を受ける。

５）昭和 62 年度　〃　（課題番号 62770202）　〃　。

６）受罰　無し。

論文目録

1）塚越　廣、足立　憲昭
胸腺の気縦隔回転断層撮影、
厚生省特定疾患重症筋無力症調査研究班、
重症筋無力症の成因、治療及び予防に関する研究.昭和 50 年度研究報告書 : 168-171.1975

2）塚越　廣、足立　憲昭：精神安定剤．診断と治療、64：107-109.1976

3）塚越　廣、足立　憲昭、中川　真一、村上　富美江、金井　正光：
脱髄疾患における髄液中β2-microglobulin
厚生省特定疾患・脱髄疾患調査研究班、
脱髄疾患の成因、治療及び予防に関する研究.1976 年度研究報告書：103-108.1976

4）足立　憲昭、加賀谷　肇、小口　喜三夫、柳沢　信夫、塚越　廣：
多発性筋炎をもって初発し、16ヵ月後に初めて関節症状が出現した悪性関節リウマチの一例.日内会誌、66：535-540.1977

5）塚越　廣、足立　憲昭：原発性脊髄側索硬化症・脊髄後索硬化症.神経内科、
6：27-33.1977

6）塚越　廣、足立　憲昭：　Foix-Alajouanine 症候群.
日本臨床、35：502-503.1977

7）望月　宗範、大塚　訓喜、大内　悦雄、足立　憲昭：
脊椎硬膜外血腫に対する緊急手術の１例.　関東整災誌、9：119-12.1977

8）足立　憲昭、塚越　廣、村上　富美江、金井　正光：
髄液中のβ2-microglobulin 各神経疾患における値との対比.臨床神経、
18：351-357.1978

9）金井　正光、加登　通正、足立　憲昭、相沢　孝夫：
体液・電解質　β2 マイクログロブリン.　綜合臨床、27：2543-2555.1978

10）塚越　廣、中野　知幸、足立　憲昭、進藤　政臣、柳沢　信夫：
重症筋無力症と筋無力症候群の特徴を有した慢性多発筋炎の１例、
厚生省特定疾患重症筋無力症調査研究班、
重症筋無力症の成因・治療及び予防に関する研究、昭和 52 年度研究報告書：
25-32.1978

11）栢沼　勝彦、足立　憲昭、中島　元次、柳沢　信夫、塚越　廣：
感覚障害と白内障を伴った家族性痙性対麻痺の 3 同胞例.
臨床神経、19：388-393.1979

12）Iwanaga S, Morita T, Kato H, Harada T, Adachi N, Sugo T, Maruyama I, Takada K, Kimura T, Sakakibara S. :
Fluorogenic peptide substrates for proteases in blood coagulation, kallikrein-kinin and fibrinolysis systems.　Adv Exp Med Biol. 120A:147-63. 1979

13）Hisao Kato,　Noriaki Adachi,　Yasuo Ohno,　Sadaaki Iwanaga, Katsumi Tanaka　and　Shunpei Sakakibara:　New Fluorogenic Peptide Substrates for Plasmin.　J　Biochemistry 88:183-190.1980

14）Hisao Kato,　Noriaki Adachi,　Sadaaki Iwanaga,　Keishi Abe,　Katsumi Tanaka,　Terutoshi Kikuma and Shunpei Sakakibara:
A New Fluorogenic Substrate Method for the Estimation of Kallikrein in Urine. J　Biochemistry.　87:1127-1132.1980

15）金井　正光、足立　憲昭、亀子　光明、戸塚　実：
レチノール(ビタミン A）結合蛋白-レチノール転送系の代謝と病態-
代謝、18：21-37.1981

16）C.Ross,　N.Adchi,　D.S.Goodman:
The binding protein for retinoic acid from rat testis cytosol: isolation and partial characterization.
J Lpid Res.21：100-109.1980

17）Adachi N,　J.E.Smith,　D.Sklan,　D.S.Goodman:
Radioimmunoassay studies of the tissue distribution and subcellular localization of cellular retinol binding protein in rat.
J.Biol.Chem.256(18):9471-9476.1981

18）足立　憲昭：細胞内レチノールおよびレチノイン酸結合蛋白に関する研究.
信州医学雑誌、30(3):311-321,1982

19）足立　憲昭、柳沢　信夫： 腰椎および脳槽穿刺法.
臨床医、vol.8:24-242.1982

20）Sklan.D,　N.Adachi,　D.S.Goodman et al.:
Association of retinol-binding protein and several lipid hydrolase activities with a vitamin A-containing high-molecular-weight lipid-protein aggregate from rat liver cytosol.
Arch.Biophys.　214:35-44,1982

21）Shoji S,　N.Adachi,　M.Kameko,　S.Nagasawa:
Prealbumin and immunoglobulin in serum and cerebrospinal fluid in familial amyloid polyneuropathy
Eur. Neurol 22:213-216.1983

22）Adachi.N,　Shoji.S,　S.Nakayama,　C-S Koh,　N.Tsukada,　N.Yanagisawa:
Studies of protease and protease inhibitors in familial amyloidoic polyneuropathy:
J of the Neurological Sciences, 81: 79-84.1987

23）Adachi.N,　Shoji.S,　N.Yanagisawa:
Bleeding manifestations in 24 patients with familial amyloidoic polyneuropathy
Eur.Neurol.　28:115-116.1988

24）Adachi.N, C-S Koh,　N.Tsukada, S.Shoji,　N.Yanagisawa:
In vitro degradation of amyloid material by four proteasea in tissue of a patient with familial amyloidtic polyneuropathy.
J Neurol Sci.　84:295-299,1988

25）Adachi.N,　Shoji.S,　S.Nakayama,　C-S Koh,　N.Tsukada and　N.Yanagisawa:
Protease and Protease inhibitors in Familial Amyloidotic Polyneuropathy.in “AMYLOID AND AMYLOIDOSIS”,
Isobe I.edited,　Plenum Publishing Corporation,　New York.1988

26) 足立　憲昭、柳沢　信夫：生体アミンと関係ある神経精神疾患.
CLNICAL NEURO-SCIENCE vol.6 No.5:528-531.1988

27) Adachi.N, Shoji.S :
Studies of protease inhibitors in the sera of patients with amyotrophic lateral sclerosis: J of the Neurol Sci,89:165-168.1989

28) 足立　憲昭、松本　隆一、井上　敦：腰椎および脳槽穿刺法.
臨床医 1990

29) Adachi. N: Current and proposed treatment of familial amyloidotic polyneuropathy: Clin Neuropharmacol. 1989 Dec;12(6):506-13.

30) Adachi.N: Protease inhibitors in neurologic disease in “Regulation of extra-vascular fibrinolysis in nervous system development and disease” Festoff-B.W.edited,
Plenum Publishing Coporation, New York. 1990

31) Adachi N: Beta-2-microglobulin levels in the cerebrospinal fluid: their value as a disease marker. A review of the recent literature.
Eur Neurol. 1991;31(4):181-5.

32) 河原　啓（河原医院)、足立　憲昭（西武庫病院内科)、廣畑　成也（厚生会兵庫病院)、井上　侃也（坂上田病院)、山中　若樹（兵庫医科大学第一外科)、
三村　治（兵庫医科大学第一眼科)、林　祥剛（神戸大学医学部第一病理）：
インターフェロン(INFα)治療中に Ocular pseudo-myastheic riaction を生じ、predonine との併用により眼症状は消失し、完治したＣ型慢性活動性肝炎の一症例．兵庫県医師会医学雑誌、37(3):102-107.1994

33) 足立　憲昭（西武庫病院内科部長）：一歩すすんだコンピュータ通信のすすめ．看護実践の科学、24(3):101.1999

34) 足立　憲昭（西武庫病院内科部長）：
シンポジウム「旅行の医学」●海外渡航者の医療記録●
医療記録の提供は主治医の務め　書式を準備し万全の備えを.
日経メディカル、386: 133-136. 2000.1

35）足立憲昭（みきやまリハビリテーション病院理事長・院長)、田渕　香（みきやまリハビリテーション病院療法室室長補佐）：
患者さんに寄り添い、思いを共有し、地域に根ざしたリハビリテーションを
日本慢性期医療協会誌（第 24 回日本慢性期医療学会(前編)）
108　Vol.24　Page53-57　2016.12